

(案)

平成 29 年度
島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価書

平成 30 年 月作成

島田市

目 次

総合戦略の評価・検証について（PDCA サイクルの確立）・・・・・・・・・・ 1

平成 29 年度総合戦略評価・検証結果（行政による自己評価）・・・・・・ 2・3

平成 29 年度総合戦略重要業績評価指標（KPI）実績値及び評価一覧表 4・5

【資料】総合戦略の進捗管理表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

総合戦略達成状況の評価区分について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8・9

総合戦略達成状況の評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10・11

総合戦略達成状況確認表 【基本目標 1】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12～15

【基本目標 2】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16～19

【基本目標 3】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20～23

【基本目標 4】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24～29

1 取組内容

- ・平成 27 年度に策定した「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進を図るため、重要業績評価指標（K P I）による事業評価、検証を行い、必要に応じて総合戦略を改訂するという一連のサイクルを実施する。（P D C A サイクル）
- ・市議会をはじめ、産官学金労言の代表者に参画いただいている「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」や市内金融機関代表者と組織している「島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議」で外部評価を行い、評価の妥当性、客観性を担保したうえで、施策の見直しや改善を行い、総合戦略の実効性を高めていく。
- ・平成 30 年度においては、第 2 次島田市総合計画を踏まえた評価・検証を行い、同総合計画との整合性を図っていく。

2 評価方法

P（プラン）：総合戦略（H27～H31 の 5 年間）

うち、施策の目標 6 項目、重要業績評価指標（K P I）25 項目

D（計画の実施）：施策、事業の実施

C（評価）：① 自己評価

- ・行政（事業所管課等）による評価、分析（～ 6 月）
- ・島田市まち・ひと・しごと創生推進本部幹事会（7 月中旬開催予定）
- ・島田市まち・ひと・しごと創生推進本部会議（8 月上旬開催予定）
- ② 外部評価
 - ・島田市まち・ひと・しごと創生市民会議（年 2 回 8、3 月開催予定）
 - ・島田市まち・ひと・しごと創生金融機関会議（ ” ）
 - ・議会への報告・検証（9 月）

A（見直し・改訂）：評価結果に基づき、次年度予算、施策展開に反映

3 平成 30 年度スケジュール

時期	項 目	概 要
～ 6 月	事業所管課等による自己評価	平成 29 年度実施事業の評価、KPI による検証、総合戦略の見直し、改訂等
7 月 17 日	推進本部幹事会	事業所管課による評価、とりまとめ結果の確認
8 月 7 日	推進本部会議	
8 月 10 日	金融機関会議	行政による自己評価結果の検証
8 月 22 日	市民会議	
9 月	議会への報告、検証	自己評価結果、外部評価結果の議会への報告
9 月～	評価結果の次年度予算、施策等への反映（事業の重点化、改善、新規施策等）	
3 月 18 日	金融機関会議	当年度事業実施状況、次年度予算、取組内容の報告 まち・ひと・しごと創生に関する施策の情報交換
3 月 19 日	市民会議	

平成 29 年度

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価・検証結果(行政による自己評価)

□総合戦略全体の評価を踏まえた今後の取組及び方向性

平成 29 年度末の実績値から、進捗状況は緩やかではあるが、着実に目標値に向かっており、一定の成果は現われているため、引き続き、基本目標の達成に向け各取組を推進していく。

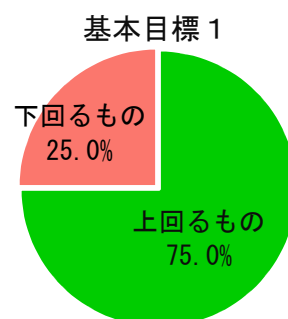
さらに、今般の社会情勢やこれまでの実績を踏まえた、実効性のある総合戦略とするため、本年度からスタートした「第 2 次島田市総合計画」との整合性を図る中で、目標値や取組内容等の見直し、改訂等を検討する。

□基本目標ごとの評価と今後の施策展開

●基本目標 1 「日本で、世界で、稼ぐ産業の創出」(全 12 項目)

基準値から平成 29 年度実績値の推移

上回るもの	9 項目 (75.0%)
下回るもの	3 項目 (25.0%)



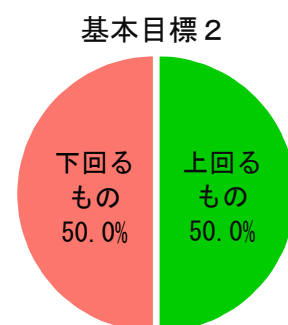
基準値からの推移において、全体の 75%が基準値から上回っており、目標値に向かって着実に推移していることから、今後も引き続き各取組を推進していく。

なお、基準値を下回ったもののうち、「中心市街地の 1 日当たりの歩行者数」については、通行調査日以降に「しまだ音楽広場」が整備され、取組が成果に反映できなかったことが要因の一つと考えられる。今後は、これらの取組に加え、「新中心市街地活性化基本計画」を新たに策定し、人口減少社会の中でも持続可能なまちづくりを推進していくとともに、更なる賑わい創出につなげていく。

●基本目標 2 「島田市に住み、好きになる」(全 4 項目)

基準値から平成 29 年度実績値の推移

上回るもの	2 項目 (50.0%)
下回るもの	2 項目 (50.0%)

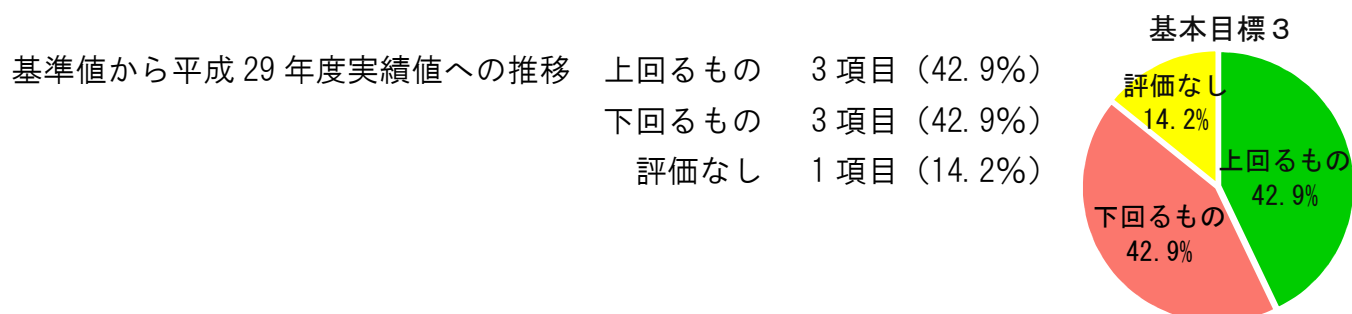


基準値からの推移において、全体の 50%が目標値に向かって推移しており、概ね順調と考えられる。

「島田市が好きな市民の割合」は基準値を下回ってはいるが、実績値は「66.2%」であり、概ね 65%以上の市民は、「島田市が好き」ということでもあり、今後も引き続き、各取組を推進していく。

また、「社会移動」についても基準値を下回ってはいるが、年齢別で見ると、30～40 歳では14 人の転入超過となっており、子育て世代は増加している。

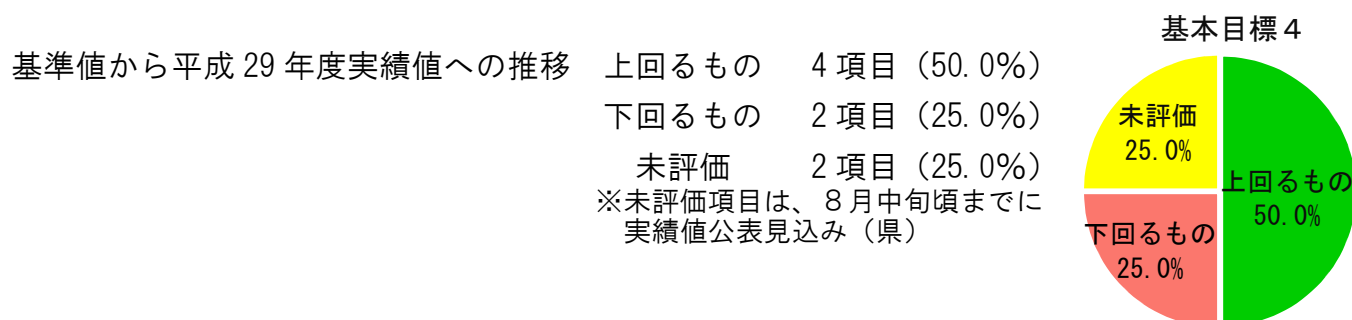
●基本目標3 「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする」(全7項目)



基準値からの推移において、上回っているものは42.9%にとどまっているが、下回っているもののうち「待機児童数」については、新規保育園の開園等により、本年度当初において目標達成となる。それを含めれば、全体の57.1%が基準値を上回る結果であり、順調に推移していると考えられる。

また、基準値を下回る「婚姻率」については、本年度よりスキルアップセミナーや婚活イベントの開催、出会いのフォローアップ、結婚支援団体等の情報交換会等、新たな取組を行い、更に各事業を連携し、向上を図っていく。

●基本目標4 「水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり」(全8項目)



基準値からの推移において、基準値から上回っている項目が、全体の50%を占めていることから、概ね順調に推移していると考えられる。

「島田市の住みごちがよいと感じる市民の割合」は、基準値よりも下回っているものの、80%を超える市民は住みごちがよいと感じており、引き続き、目標達成に向け各取組を推進していく。

また、「コミュニティバス利用者数」についても、基準値より下回っているが、今後は利用者の拡大ではなく、公共交通の移動困難者に対するカバー率の向上や適正本数の確保を目標とした取組に移行している状況であり、新たな取組の推進を図っていく。

平成29年度島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標（KPI）実績値及び評価一覧表

基本目標	主な施策	指標	基準値	目標値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	基準値との 比較	評価	前年度実績との比較	評価	年度別実績値の推移 折れ線グラフ：基準値から目標値への推移 棒グラフ：年度別実績値
1 日本で、世界で 稼ぐ産業の創出	1人あたり市民所得 （県民所得との比率）（年間）		92.10%	100%	92.39%	90.21%	86.64%	△ 5.46%	↓	△ 3.57%	↓	
	市内総生産額（年間）		3,556億円	3,770億円	3,571億円	3,491億円	3,835億円	279億円	↑	344億円	↑	
	1ーア 高速交通網の拠点で稼ぐ	新規企業立地件数（累計）	0件	11件	5件	6件	7件	7件	↑	1件	↑	
	1ーイ まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ	観光交流客数（年間）	276万人	300万人	236万人	239万人	284万人	8万人	↑	45万人	↑	
		宿泊者数（年間）	142,199人	148,000人	183,901人	197,350人	188,936人	46,737人	↑	△ 8,414人	↓	
	1ーウ 新たな付加価値による農林業で稼ぐ	新規青年就農者数（累計）	2人	7人	3人	7人	8人	6人	↑	1人	↑	
		担い手への農地集積率（累計）	38.2%	67.0%	38.4%	39.8%	39.1%	0.9%	↑	△ 0.7%	↓	
		認定農業者数（年度末現在）	388人	450人	392人	391人	384人	△ 4人	↓	△ 7人	↓	
		森林間伐面積（年間）	83.4ha	145.0ha	64.8ha	122.7ha	113.6ha	30.2ha	↑	△ 9.1ha	↓	
	1ーエ 地域産業の競争力を高めて稼ぐ	新規創業者数（累計）	0人	20人	4人	19人	31人	31人	↑	12人	↑	
		販路開拓支援件数（累計）	0件	500件	107件	287件	363件	363件	↑	76件	↑	
		中心市街地（本通二丁目交差点）の1日当たり歩行者数（調査実施日現在）	1,992人	2,100人	1,985人	2,008人	1,511人	△ 481人	↓	△ 497人	↓	
2 島田市に住み、好きになる	社会移動（年度末現在）		△ 71人	0人	△ 63人	17人	△ 183人	△ 112人	↓	△ 200人	↓	
	島田市が好きな市民の割合 （H27年度まで：地方創生に関するアンケート調査（18歳以上）） （H28年度以降：島田市総合計画市民意識調査（20歳以上））		72.4%	90.0%	72.4%	68.0%	66.2%	△ 6.20%	↓	△ 1.80%	↓	
	2ーア 移住・定住の促進	移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数（累計）	0件	100件	3件	31件	50件	50件	↑	19件	↑	
	2ーイ シティプロモーションによるまちの魅力創造	市民幸福感の向上（「島田市総合計画市民意識調査」）	6.3点	7.0点	6.4点	6.4点	6.5点	0.2点	↑	0.1点	↑	

平成29年度島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標（KPI）実績値及び評価一覧表

基本目標	主な施策	指標	基準値	目標値	H27 実績値	H28 実績値	H29 実績値	基準値との 比較	評価	前年度実績との比較	評価	年度別実績値の推移 折れ線グラフ：基準値から目標値への推移 棒グラフ：年度別実績値
3 希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする	合計特殊出生率 （県において期間で算出、 次回公表は平成31年度）		1.51%	1.60%	-	-	-	-		-		
	3ーア 出逢い、恋して、結婚する	婚姻率（人口千人当たり）（年度末現在）	4.63人	5.00人	4.11人	3.87人	3.80人	△ 0.83人	↓	△ 0.07人	↓	
	3ーイ 妊娠、出産する	妊娠11週までに妊娠届けをした妊婦の割合（年間）	95.8%	98.0%	95.1%	94.2%	96.1%	0.3%	↑	1.9%	↑	
	3ーウ 子どもをまんなかに子育てする	保育所等の待機児童数（4月1日現在）	4人	0人	11人	27人	20人	16人	↓	△ 7人	↑	
		放課後児童クラブの待機児童数（4月1日現在）	0人	0人	3人	31人	28人	28人	↓	△ 3人	↑	
	3ーエ 豊かな心をもった子どもを育成する	学校が楽しい 児童（市内小中学校が行う学校評価データ）	89.0%	95.0%	91.0%	90.0%	90.0%	1.0%	↑	0.0%	→	
		学校が楽しい 生徒（市内小中学校が行う学校評価データ）	86.0%	90.0%	90.0%	88.0%	89.0%	3.0%	↑	1.0%	↑	
4 水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり	島田市の住みごこちがよいと感じる市民の割合 （「島田市総合計画市民意識調査」）		84.6%	90.0%	84.9%	84.1%	82.4%	△ 2.2%	↓	△ 1.7%	↓	
	4ーア 健康長寿の促進	お達者度（男性） （県において算出）	10位	1位	11位	8位	-	#VALUE!	##	#VALUE!	##	
		お達者度（女性） （県において算出）	6位	1位	6位	6位	-	#VALUE!	##	#VALUE!	##	
		健幸マイレージに取り組んだ人数（年間）	329人	2,000人	713人	755人	878人	549人	↑	123人	↑	
	4ーイ 地域包括ケアの推進	居場所づくり事業実施箇所数（年度末現在）	10箇所	60箇所	18箇所	23箇所	38箇所	28箇所	↑	15箇所	↑	
		地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数（累計）	63事業所	164事業所	97事業所	108事業所	117事業所	54事業所	↑	9事業所	↑	
	4ーウ 住民生活を支える公共交通基盤の整備	在宅看取りの率 （在宅死亡者の率）（年間）	18.8%	20.0%	17.7%	19.2%	19.2%	0.4%	↑	0.0%	→	
		コミュニティバス利用者数（年間）	369,957人	370,000人	379,717人	256,865人	240,040人	△129,917人	↓	△16,825人	↓	

【評価】

●基準値とH29末実績値との比較

上回るもの：18項目（58.1%） 変動がないもの：0項目（--%） 下回るもの：10項目（32.3%） 評価なし：3項目（9.7%）

●前年度（H28末実績）とH29末実績値との比較

上回るもの：15項目（48.4%） 変動がないもの：2項目（6.5%） 下回るもの：11項目（35.5%） 評価なし：3項目（9.7%）

(案)

平成 29 年度
島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略
進捗管理表

【資料】

平成 30 年 月作成

島田市

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価区分について

1 評価・検証について

平成 29 年度実績等の最新値に基づく総合戦略に掲げる施策の目標の推移や、具体的な施策ごとの重要業績評価指標（K P I）の達成状況、本年度の取組や今後の施策展開等を取りまとめたものである。

2 評価方法について

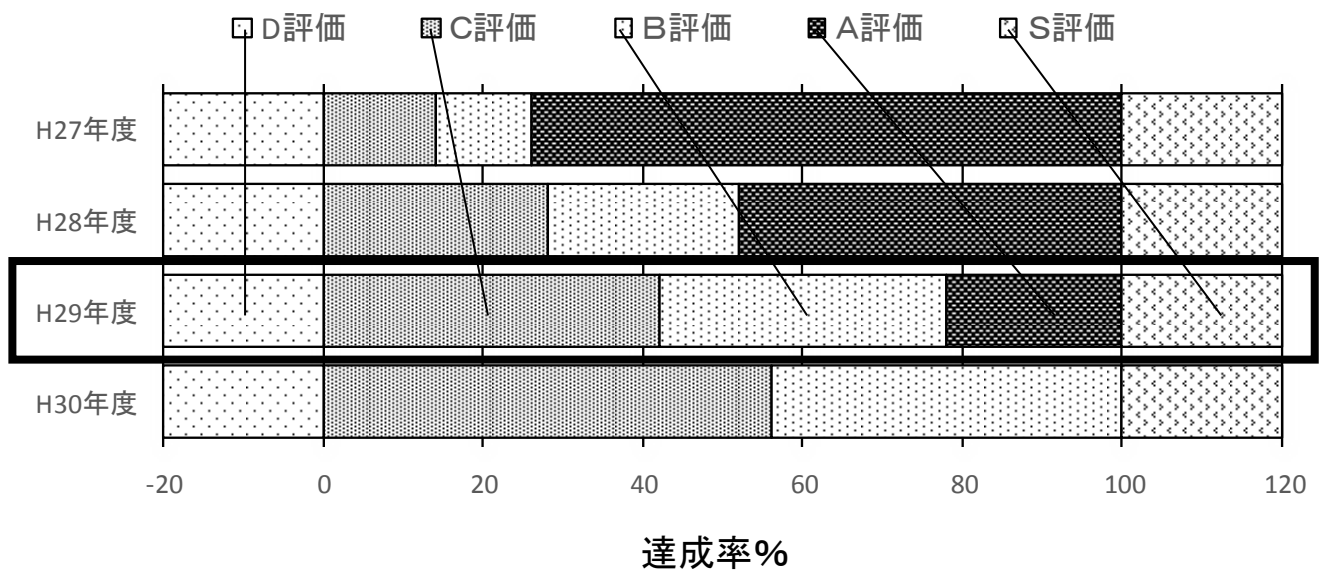
達成率については、静岡県の「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価手法を参考に、以下により、評価を行っている。これは、計画期間の5年の中では、年による進捗の差が考えられるため、理想値（達成率※平成 29 年度評価では 60%）の推移に対して±30%の幅をもたせているものです。

《評価区分》

区分	評価基準
S 【100%≤達成率】	「実績値」が現時点で「目標値」を達成しているが、 今後もさらなる取組が必要なもの
A 【78%＜達成率＜100%】	「実績値」が「理想値」の推移×+30% 超え ～「目標値」未満のもの
B 【42%≤達成率≤78%】	「実績値」が「理想値」の推移×±30%の範囲のもの
C 【0%＜達成率＜42%】	「実績値」が「理想値」の推移×－30% 未満 ～「基準値」を超えるもの
D 【達成率≤0%】	「実績値」が「理想値」以下のもの
評価なし	統計調査未実施、当該年度調査なし等により達成率の算出ができないもの

※理想値：計画最終年度（平成 31 年度）に目標を達成するものとして、基準値から目標値に向けて、各年均等に推移した場合における各年の数値
平成 29 年度理想値 達成率 60%（5 年目中の 3 年目）

3 年度別評価と達成率の関係



S : 100%以上

A : S から B の間

B : H27 理想値(20%)×±30%の範囲

: H28 理想値(40%)×±30%の範囲

: H29 理想値(60%)×±30%の範囲

: H30 理想値(80%)×±30%の範囲

C : B から D の間

D : 0 %未満

平成 29 年度 総合戦略の目標値及び重要業績評価指標（KPI）達成状況及び評価について

（１）総合戦略全体の評価凡例

S	平成 29 年度の実績値がすでに目標値を達成しているもの (100%≤達成率)
A	平成 29 年度の実績値から判断し、目標達成が予定より早く見込まれるもの (78%＜達成率＜100%)
B	平成 29 年度の実績値から判断し、目標達成が予定どおり見込まれるもの (42%≤達成率≤78%)
C	平成 29 年度の実績値から判断し、目標達成に努力が必要なもの (0%＜達成率＜42%)
D	平成 29 年度の実績値が基準値以下であり、目標値達成に一層の努力が必要なもの (達成率≤0%)

（２）総合戦略の進捗状況による評価

①「施策の目標」の評価

	S	A	B	C	D	評価なし	前年比較
基本目標							
・ 施策の目標【6項目】	1	0	0	0	4	1	↑ 1 ↓ 3 ↓ 1
日本で、世界で、稼ぐ産業の創出							
・ 1人当たり市民所得					●		→ D→D
・ 市内総生産額	●						↑ D→S
島田市に住み、好きになる							
・ 社会移動					●		↓ S→D
・ 島田市が好きな市民の割合					●		→ D→D
希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする							
・ 合計特殊出生率						●	—→—
水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり							
・ 島田市の住みごこちがよいと感じる市民の割合					●		→ D→D

【評価】

- ・ 前年度結果より評価が上がったものが1項目、下がったものが1項目、変化がないものが3項目であった。
- ・ 今年度、現在までに評価を行ったもののうち、3項目がD評価であり、大多数の項目において達成率が低かった。
- ・ 前年度に目標達成が見込まれるとされたものでも、今年度、達成率が下がるものもあり、一年単位での評価で一喜一憂はできない。

②「重要業績評価指標（KPI）」の評価

	S	A	B	C	D	評価なし	前年比較
基本目標							
重要業績評価指標（KPI）【25項目】	3	0	7	7	6	2	4 13 6
日本で、世界で、稼ぐ産業の創出	3	0	3	2	2	0	
・新規企業立地件数			●				A→B
・観光交流客数（年間）				●			D→C
・宿泊者数（年間）	●						S→S
・新規青年就農者数	●						S→S
・担い手への農地集積率				●			C→C
・認定農業者数					●		C→D
・森林間伐面積（年間）			●				A→B
・新規創業者数	●						A→S
・販路開拓支援件数			●				A→B
・中心市街地（本通二丁目交差点）の1日当たり歩行者数					●		C→D
島田市に住み、好きになる	0	0	1	1	0	0	
・移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数			●				B→B
・市民幸福度の向上				●			C→C
希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもを まんなかに子育てする	0	0	1	2	3	0	
・婚姻率（人口千人当たり）					●		D→D
・妊娠11週までに妊娠届けをした妊婦の割合				●			D→C
・保育所等の待機児童数（4月1日現在）					●		D→D
・放課後児童クラブの待機児童数					●		D→D
・学校が楽しい児童				●			C→C
・学校が楽しい生徒			●				B→B
水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやす いまちづくり	0	0	2	2	1	2	
・お達者度（男性）（県内順位）						※公表待ち	D→—
・お達者度（女性）（県内順位）						※公表待ち	D→—
・健幸マイレージに取り組んだ人数				●			C→C
・居場所づくり事業箇所数			●				C→B
・地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数			●				B→B
・在宅看取り者数（在宅死亡者数（率））				●			B→C
・コミュニティバス利用者数（年間）					●		D→D

【評価】

- ・25項目中、S評価（目標値達成）とA、B評価（達成が見込まれる）の合計が10項目（全体の40%）を占めている。また、目標達成に向けては更なる努力が必要ではあるが、成果が出始めているC評価まで含めると、17項目（全体の68%）となり、各施策、取組の成果は少しずつ現れていると考えられる。
- ・一方、基準値を下回るD評価も6項目（全体の24%）となった。

【基本目標１】 日本で、世界で、稼ぐ産業の創出

施策の目標	基準値（H26）	目標値（H31）	実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）
1人当たり市民所得（県民所得との比率） （年間） （出典：しずおかけんの地域経済計算）	92.1% （H24）	1人当たり県民 所得を上回る （100%）	92.39% （H25） ＜3.7%＞	B	90.21% （H26） ＜基準値以下＞	C	86.6% （H27） ＜基準値以下＞	97.8%	D
市内総生産額（年間） （出典：しずおかけんの地域経済計算）	3,556.26億円 （H24）	3,769.75億円 ※H20ベース にする	3,570.52億円 （H25） ＜6.7%＞	C	3,490.80億円 （H26） ＜基準値以下＞	D	3,835.12億円 （H27） ＜130.6%＞	3,599.04 億円	S

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（１）高速交通網の拠点で稼ぐ										
・富士山静岡空港周辺のまちづくり ・新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺のまちづくり ・地域資源を活かした企業誘致 ・交通拠点を活かした周辺基盤整備	新規企業立地件数（累計）	6件 H22～H26年度 立地実績	5年間で11件	5件 ＜45.5%＞	A	6件 ＜54.5%＞	A	7件 ＜63.6%＞	6.6件	B

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（２）まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ										
・SLを活かした観光誘客の促進 ・川根温泉及び田代の郷温泉を核とした観光の推進 ・ニューツーリズムや歴史・文化資源を活用した新たな観光の推進 ・観光資源の有効活用とロケーション活動支援の充実 ・富士山静岡空港の海外渡航先からの外国人観光客の誘致 ・観光地域づくりと広域観光連携の推進	観光交流客数 （年間）	276万人 （H25）	300万人	236万人 （H26） ＜基準値以下＞	D	239万人 （H27） ＜基準値以下＞	D	284万人 （H28） ＜33.3%＞	291万人	C
	宿泊者数 （年間）	142,199人 （H25）	148,000人	183,901人 （H26） ＜100%≦＞	S	197,350人 （H27） ＜100%≦＞	S	188,936人 （H28） ＜100%≦＞	145,679人	S

総合戦略進捗確認表

基本目標の評価			所管課
【1人当たり市民所得】 ・基準値（H24）92.1%（2,823千円／3,065千円）と比較し、86.6%（2,873千円／3,316千円）となり県との差が大きく開いた。 ・静岡県（331.6万円）、中部地域（5市2町）の平均（321.0万円）より島田市は下回っているが、藤枝市（303.3万円）、焼津市（299.1万円）と比較した場合、大きな差はない。 ・島田市は県内35市町中、上から23番目となっている（藤枝市は20番目、焼津市は21番目）。 【市内総生産額】 ・基準値（H24）と比較し、市内総生産額は約27億8千8百万円の増（30.6%）であり更に目標値を上回った。 ・大きく増加したものは、製造業の3百4億4千1百万円増（28.2%）、電気・ガス・水道・廃棄物処理業の20億1千7百万円増（24.6%）、専門・科学技術・業務支援・サービス業の16億6千4百万円増（11.3%）であり、減少したものは、建設業の22億6千7百万円減（-8.5%）、公務の5億9千4百万円減（-4.7%）、林業の1千百万円減（-3.2%）であった。 ・平成20年のリーマンショック以降続いていた、製造業の停滞については、リーマンショック以前の数値（H15～H19平均 1,204億4千2百万円）と比較し179億6千3百万円の増（15%）となり、市内総生産額増加の理由の一つと考えられる。			戦略推進課
平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【新規企業立地件数】 ・1件（平成29年度） ・市内への企業立地を推進するため、市外企業への訪問や静岡県東京事務所と連携した企業訪問を実施した。また、市内遊休地等をホームページで公開し、情報提供を行った。	【新規企業立地件数】 ・市内で新規工場の操業を開始した企業に対し、島田市企業立地促進事業費補助金（この場合は、新規従業員雇用に対する補助金）を交付した。	【新規企業立地件数】 ・前年度に引き続き、市独自及び静岡県と連携した市外企業への訪問等を行っていく。また、市内企業の定着及び2次投資を図るため、市内立地企業（事業所）の訪問や本社訪問等も行っていく。 ・島田金谷IC周辺の工業用地について、立地に向けたPR活動を行うとともに、年度末を目途として堤間地区1工区の企業募集を行っていく。	内陸フロンティア推進課
平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【観光交流人口】 ・空港就航先、首都圏、中京圏における国内からの誘客キャンペーンについて引き続き実施するとともに、冊子「大井川で逢いましょう」のトーマス特集などについては、高速道路サービスエリアや首都圏地下鉄駅構内での配架など新たな取組を進め、交流人口の拡大を図った。 ・かわまちづくり計画に基づく蓬莱橋周辺整備事業として、お休み処兼物産販売所「蓬莱橋897.4茶屋」を整備し、観光交流客数の増加を図った。 ・大井川鐵道株式会社の機関車トーマス号の運行に併せたおもてなし事業の実施などについて、継続して取り組んだ。 ・新たに発足した静岡県中部・志太榛原地域連携DMOを中心に、中部・志太榛原地域における魅力的な観光地域づくりや、戦略に基づく一元的な情報発信及びプロモーションを行った。 ・その他、しまだ大井川マラソン大会及びフォトロゲイニングの開催、合宿誘致、オリンピック・パラリンピック合宿誘致に取り組んだ。 【宿泊者数（年間）】 ・国内外からの誘客につながる事業を展開するとともに、空港就航先、首都圏、中京圏における国内キャンペーンを積極的に行うことにより宿泊者の増加を目指した。 ・中部志太・榛原DMOをはじめとする広域観光との連携により今後の更なる観光振興を推進し、観光交流客、宿泊者数の増加を図った。	【観光交流人口】 ・ビックイベントである島田大祭や金谷茶まつりが開催されたことが増加の大きな要因である。 【宿泊者数（年間）】 ・目標値は達成しているものの、前年度比8,414人の減となっている。 ・富士山静岡空港国際便の減少により、中国を中心とするインバウンドが低下したことが大きな要因といえる。 ・平成26年度の川根温泉ホテルの開業やトーマス運行による家族連れ宿泊者などにより宿泊者数自体は踏みとどまっている印象である。全体の宿泊者のうち、1割～2割が外国人客で、最近の傾向としては、外国人の個人旅行客が多いと考えられる。	【観光交流客数（年間）】 ・中部・志太榛原地域連携DMOや周辺市町と連携し、国外や空港就航先、首都圏、中京圏における国内からの誘客キャンペーンについても引き続き実施し交流人口の拡大を目指していく。 ・かわまちづくり計画に基づき、駐車場を中心とした蓬莱橋周辺整備を引き続き推進するとともに、昨年度整備した「蓬莱橋897.4茶屋」の円滑な管理運営を行い、賑わいと交流を創出していく。 ・鵜山地域を中心に、地域住民と連携してパラグライダー体験をはじめ、様々なアウトドア体験が楽しめるアドベンチャーエリアとして発信していく。 ・スポーツツーリズムによる交流人口拡大のため、2020東京オリンピック合宿地として、モンゴル国ボクシング競技の事前合宿受入れとともに、シンガポール卓球競技の事前合宿受入れに向けた最終調整を行う。 - また、「しまだ大井川マラソンinリバティ」を第10回記念大会として、事業者、市民と一体となって島田の魅力を全国発信する。 ・観光協会の体制を強化するとともに、観光を地域経済に結び付けていくため、観光、商業、農業に従事する事業者のマッチングを行うなど「観光で稼ぐ」体制を構築していく。 【宿泊者数（年間）】 ・蓬莱橋や島田金谷インターチェンジ周辺にぎわい交流拠点など、今後整備が進む拠点を加えた周遊型の観光メニューの検討など、宿泊も含め地域に長く滞在していただける仕掛けを検討していく。 ・川根温泉、川根温泉ホテル水道設備など、観光施設の改修を行うとともに、老朽化に対応したリニューアル計画を検討し、観光客の満足度向上を図る。	観光課

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（３）新たな付加価値による農林業で稼ぐ										
・茶の生産基盤の強化と消費 拡大 ・６次産業化とブランド化の 推進 ・地域農業の振興と地産地消 の推進 ・多様な担い手の確保・育成 ・生産性の高い林業の実現	新規青年 就農者数 （累計）	2人	7人	3人 ＜20%＞	B	7人 ＜100%＞	S	8人 ＜100%＞	5人	S
	担い手へ の農地集 積率 （累計）	38.20%	67%	38.4% ＜0.7%＞	C	39.8% ＜5.6%＞	C	39.1% ＜3.1%＞	55.6%	C
	認定農業 者数 （年度末 現在）	388人	450人	392人 ＜6.5%＞	C	391人 ＜4.8%＞	C	384人 ＜基準値以下＞	424人	D
	森林伐採 面積 （年間）	83.4ha	145ha	64.8ha ＜基準値以下＞	D	122.7ha ＜63.8%＞	A	113.61 ＜49.0%＞	120.3ha	B

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）			実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（４）地域産業の競争力を高めて稼ぐ										
・地域産業の振興 ・商業・サービス産業の活性化 ・企業とのマッチング促進	新規創業者数 （累計）	***	5年間で20件	4件 ＜20%＞	B	19件 ＜95%＞	A	31件 ＜155%＞	12件	S
	販路開拓支援件数 （累計）	***	5年間で500件	107件 ＜21.4%＞	B	287件 ＜57.4%＞	A	363件 ＜72.6%＞	300件	B
	中心市街地の1日 当たり歩行者数 （調査実施日現在）	1,992人	2,100人	1,985人／日 ＜基準値以下＞	D	2,008人／日 ＜14.8%＞	C	1511人／日 ＜基準値以下＞	2,058人	D

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【新規青年就農者数】 ・平成29年度の新規就農者数は1人おり、それまでの新規青年就農者と合わせ8人（7人＋1夫婦）となった。8人のうち3人＋1夫婦に青年就農給付金の給付をした。 【担い手への農地集積率】 ・平成29年度に、認定農業者は7人減少したこともあり集積面積合計は1,267haとなった。 ・認定農業数：H29年度 384人、H28年度 391人、H27年度 392人、H26年度 388人、H25年度 380人 【認定農業者数】 ・平成29年度に、認定農業者の期間満了者99人のうち84人を再認定した（更新15人減）。新たに9人新規認定したが、全体で計1名の減となった。 【森林間伐面積（年間）】 ・平成29年度に、により「森林環境保全直接支援事業」により30.86ha、合板・製材生産性強化対策事業により82.75haを間伐した。	【新規青年就農者数】 ・就農相談の対応していくなかで、県・市・ＪＡで連携をして、より実現性の高い就農計画の方向づけができたため。 【担い手への農地集積率】 ・担い手の高齢化や後継者問題により認定者数が減少した。 【認定農業者数】 ・担い手の高齢化や後継者問題により認定者数が減少した。 【森林間伐面積（年間）】 ・県事業である「しずおか林業再生プロジェクト推進事業」の事業の縮小により、市内で間伐事業量が減少したため。	【新規青年就農者数】 ・就農相談の対応の他、認定新規就農者の認定をし、新規青年就農者を増加させる。 【担い手への農地集積率】 ・新たな認定農業者の増加を図り、それに伴い集積面積の増加を図っていく。 【認定農業者数】 ・認定農業者の再認定のほか、新規認定者の開拓を行い、更なる増加を図る。 【森林伐採面積（年間）】 ・補助金交付対象の条件となる、経営計画の策定や自立支援を引き続き行っていく。	農林課

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【新規創業者数】 ・産業支援センターで創業希望者向けセミナーを実施した。 ・平成29年度から新規事業として、藤枝市との共同で創業者向けセミナーおよびビジネスプランコンテストを実施した。 ・産業支援センターで起業家向け補助金を2人に対して交付した。 ・産業支援センターで起業希望者55人に対する個別相談を受けた。 【販路開拓支援件数】 ・市内中小企業が販路開拓を目的に、展示会等へ出展、開催した費用の一部を補助するため、補助金を交付した。 - 平成29開催事業成約件数0件、出展事業成約件数76件、計76件（H27～H29合計363件） 【中心市街地の1日あたりの歩行者数】 ・本通5丁目のび～ファイブ1階にしまだ音楽広場を整備し、音楽やダンスの練習の場を提供した。 ・おび通りを活用し、週末にフリーマーケットや子供の体操教室などイベントを実施した。また市民、事業者におび通りの利用を呼びかけた。	【新規創業者数】 ・起業希望者から個別相談を受けて、セミナー受講やビジネスプラン作成へと誘導し、さらに交付金を交付するという一連の流れが奏功し、12人の新規創業者を輩出することができた。 【販路開拓支援件数】 ・1企業者（団体）につき2回までの補助であるため、3年目となる平成29年度は補助申請者数が減少した。 【中心市街地の1日あたりの歩行者数】 ・しまだ音楽広場の整備が、通行量調査日よりも、後となったため実績値への反映は来年度以降となっている。 ・調査実施日が、その時期では一番の冷え込みとなった。（最高気温12℃最低気温7℃）	【新規創業者数】 ・平成29年度の取組に加え、新規事業として起業をめざす人などを対象としたビジネススクールを開講する。さらに、キャリア教育の一環として、高校生を対象とするビジネスプラン作成セミナーを実施する。 【販路開拓支援件数】 ・産業支援センターを窓口とした中小企業の販路開拓への相談機能を強化し、販路開拓事業費補助金と併せ、新規販路開拓を支援していく。 【中心市街地の1日あたりの歩行者数】 ・中心市街地活性化基本計画を策定し、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりにより中心市街地の賑わい創出を目指す。	商工課

【基本目標２】 島田市に住み、好きになる

施策の目標	基準値（H26）	目標値（H31）	実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）
社会移動（年度末現在）	転出超過 （71人）	均衡	転出超過 （H27.1～12） （63人） ＜11.3%＞	C	転入超過 （H28.1～12） （17人） ＜100%≦＞	S	転出超過 （H29.1～12） （183人） ＜基準値以下＞	29	D
島田市が好きな市民の割合 （平成27年度まで：地方創生に関するアン ケート調査（18歳以上）） （平成28年度以降：島田市総合計画市民意識 調査（20歳以上））	72.4% （18歳以上）	90%	*** アンケート調査 未実施のため	***	68.0% ＜基準値以下＞ （20歳以上）	D	66.2% ＜基準値以下＞	82.9%	D

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（１）移住・定住の促進										
・定住化の促進	移住・定 住相談窓 口を利用 した県外 からの移 住件数 （累計）	***	5年間で 100件	3件 （7人） ＜3%＞	C	31件 （72人） ＜31%＞	B	50件 （127人） ＜50%＞	60件	B

基本目標の評価	所管課
【社会移動】 ・転出が転入を257人上回り、基準値以下となった。 H25（▲298人）、H26（▲71人）、H27（▲63人）、H28（+17人）、H29（▲183人） ・年齢別では、30～34歳で14人の転入超過となっており、子育て世代の転入が増加が見込まれる。 ・15～19歳、20～24歳、25～29歳でそれぞれ、60人、79人、41人の転出超過となっており、就学や就職による転出が多く見込まれる。 【島田市が好きな市民の割合】 ・基準値（H26）より、1.8ポイント減少した。 ・世代別では、30歳代と40歳代で、それぞれ4.3ポイント、0.8ポイントの増加となったが、20歳代、70歳代、50歳代で、それぞれ5.9ポイント、4.0ポイント、2.6ポイントの減少となった。 ・地区別では、伊久身地区、大津地区、初倉地区でそれぞれ、33.9ポイント、3.4ポイント、2.5ポイントの増加となったが、五和地区、川根地区で減少が特に大きく、それぞれ32.9ポイント、17.1ポイントの減少となった。	戦略推進課

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数】 ・中山間地域のコミュニティの維持を図るため、特に子育て世代の移住・定住に加え、地域おこし協力隊の派遣を推進して、人口増加、定住促進を図った。また、全市的な移住・定住専用のホームページの作成及び、県外からの移住・定住者に住宅購入に対する奨励金を交付し、市内全域への移住・定住を促進するため、以下の事業を行った。 ・島田市に住もう応援奨励金 県外から市内へ移住し、市内に住宅を取得する方を対象に奨励金を交付 【実績11件 7,800,000円】 ・移住体験モニターツアー 移住希望者に川根地区での生活を体験してもらい、移住の動機付け、きっかけとする目的でツアーを開催 【実績4人】 ・移住相談会への出展 首都圏で開催される「ふるさと回帰フェア」、「3県合同移住相談会」、「ふじのくにに住みかえる移住相談会」などに市のブースを出展し、来場者に市のPRを行うとともに、移住希望者の相談に対応【出展回数 5回】 ・移住・定住ポータルサイトの作成 移住・定住に関連する情報をまとめたポータルサイトを開設（平成28年6月公開）	【移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住者件数】 ・県内外の移住相談会に出展し広報やパンフレットを作成して市のPRを行ったり、地域おこし協力隊の派遣を通じて移住体験モニターツアーの実施や移住・定住ポータルサイト「住んでしまだ」を利用した空き家バンクの情報発信をして、島田市への移住促進を促す取組を積極的に行った結果、移住者の増加に繋がった。 - また、島田市に住もう奨励金制度を利用する移住・定住者も増えてきたことも移住者の増加要因となっている。	【移住・定住相談窓口を利用した県外からの移住件数】 ・地域おこし協力隊の協力を得ながら移住・定住ポータルサイトを充実させ、情報発信力の強化を図る。（平成28年6月公開） ・民間不動産業者の管理する物件と市の空き家バンク登録物件を網羅した不動産情報サイトの登録件数の増加を図る。（平成28年6月公開） ・NPOまちづくり川根の会と連携し、川根地区の空き家情報の掘り起こしを引き続き進める。 ・首都圏開催の移住相談会に積極的に出展し、潜在的な移住希望者へのPRと、真剣に希望している者への相談対応、情報提供に努める。	地域づくり課

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（２）シティプロモーションによるまちの魅力創造										
・シティプロモーションの推進	市民幸福感の向上 （島田市総合計画 市民意識調査）	6.3点	7点	6.4点 ＜14.3%＞	B	6.4点 ＜14.3%＞	C	6.5 ＜28.6%＞	6.8点	C

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【シティプロモーションの推進】 ・島田市ブランドデザインアドバイザー業務委託 島田市緑茶化計画のブランドデザインとロゴを手掛けた事業者とアドバイザー契約を締結し、ブランド統括とともに、市民や市内民間事業者、茶業青年団を交えてのワークショップを開催し、ブランド茶第2弾の開発など、島田市緑茶化計画を推進するための事業を行った。 ・テストマーケティング事業 平成28年度に引き続き、開発したブランド茶のテストマーケティングを目的として、新東名駿河湾沼津サービスエリアにて期間限定アンテナショップを出展し、リーフ茶離れが進む若いファミリー層に島田市の緑茶の魅力を提案するなどして訴求を図った。 ・島田市緑茶化計画体験プログラム開発業務委託 ブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」の効果的な展開・具現化を図っていくための体験プログラムとして、「リョクチャカタログ」（市内飲食店による緑茶化メニューの提供）を開発し、「市民参加型シティプロモーション」の促進に努めた。 ・島田市動画コンテスト 島田市の「魅力」や「緑茶化」を表現したPR動画を募集するコンテストを実施し、入賞作品を島田市のPR動画として活用するなど、シティプロモーションの推進を図った。 ・島田市緑茶化計画広報用物品製作費補助金の交付及びロゴ使用承認 ロゴマークを入れた物品を製作する団体や事業者に対し補助金を交付し、市民への浸透を図った。 ・島田市緑茶化計画公式Web制作 島田市緑茶化計画の浸透度をわかりやすく視覚化することで、市民がより共感と愛着を持つことを目的に公式Webを制作し、閲覧者に効率的な広報に努めた。	平成29年度は島田市緑茶化計画公式Webの制作、動画コンテスト、体験プログラムの開発、コンセプト第2弾の開発などを行い、「島田市緑茶化計画」というブランドメッセージを内外に発信した。 実績値としては、0.1点の増であるが、理想値には達していないため、引き続きブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」を推進していく必要がある。 シティプロモーションは、単年度で完成するものではないため、ブランドメッセージ「島田市緑茶化計画」を市内外に浸透させるため、今後も行政だけでなく、企業や市民団体と一体となって「オール島田」でプロモーションに取り組んでいく必要がある。	【シティプロモーションの推進】 全市的な観点からの情報収集・発信等による都市ブランド化の仕組みづくりや、各産業分野でバランス良く底力を高め、一層の厚みを持たせるための個別地域資源のブランド化の構築に全市一体で取り組む。 ア 島田市緑茶化計画ブランドデザイン制作業務 ・ブランド商品の開発のためのワークショップ ・ブランド商品の開発及びパッケージ等デザインの制作 ・メインビジュアルデザイン（縦版と横版など5点程度）の制作 イ 島田市緑茶化計画協働促進事業 ・体験プログラムの開発（通年で体験できる遊び・飲食などのカテゴリ） ・ウェルカムブックの制作 ・ワークショップによる動画制作 ・コンセプトを具現化する仕組みづくりまたは商品の開発（自走型） ウ 島田市緑茶化計画広報用物品製作費補助金の交付及びロゴ使用承認 エ 広告事業の実施（シネアド） 今後は「島田市緑茶化計画」の海外・国内・市内への具体的展開及び市民や事業者など民間の動きを活性化させるための方策を検討し、各事業を推進していく。	広報情報課

【基本目標3】 希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんなかに子育てする

施策の目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)
合計特殊出生率	1.51 (H24)	1.6	*** ＜県において期間 で算出、 公表は平成31年 度＞	***	*** ＜県において期間 で算出、 公表は平成31年 度＞	***	*** ＜県において期間 で算出、 公表は平成31年 度＞	1.57	***

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（１）出逢い、恋して、結婚する										
・ 出逢い力の創造 ・ 出逢いの場づくり	婚姻率 （人口千 人当た り） （年度末 現在）	4.63人	5人	4.11人 ＜基準値以下＞	D	3.87人 ＜基準値以下＞	D	3.80人 ＜基準値以下＞	4.84人	D

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（２）妊娠、出産する										
・ 妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保 ・ 不妊に悩む方への支援 ・ 妊娠・出産に向けての支援	妊娠11週までに妊娠届けをした妊婦の割合（年間）	95.80%	98%	95.1% ＜基準値以下＞	D	94.2% ＜基準値以下＞	D	96.1% ＜13.6%＞	97.0%	C

基本目標の評価			所管課
【合計特殊出生率】 * * * * *			戦略推進課

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
---------------	----------------------	----------------	-----

【出逢いの場づくり】 ・独身の男女への楽しく出会える場の提供や、独身者の親等家族を巻き込んだ、地域全体で結婚に対する支援を行うことで、「島田に住んで子どもを育てる」きっかけとする、以下の事業を実施した。 ・親婚活～親だからできるわが子の婚活交流会～地域おせっかい人養成講座修了者を中心に結成した結婚支援ボランティア「島田おせっかい人サロン」と協働し、親同士で子どもの情報を持ち寄り交流会を実施することで、その後、親を通して独身の男女が気軽に会うきっかけづくりを行った。開催：2回 参加者：34組（男性19組、女性15組） マッチング：13組成立 ・婚活イベント 趣味のあう人同士でマッチングできるよう地酒婚、お寺婚、Book婚、初もうで婚を実施した。開催：4回 参加者：114名（男性58名、女性56名） マッチング：29組成立 ・成婚1組（平成28年度参加者）	【出逢いの場づくり】 ・島田市は他市と比較し、第2子の出産割合は高いが、婚姻率が県平均より低くなっている。（婚姻率島田市：4.6、県平均5.4、全国平均5.5/人口動態保健所・市町村別等統計（H20～24） ・平成28年度まで独身者に「出会うための力」講座を実施していたが、講座参加者が固定化してきたため、平成29年度は婚活イベントを中心に実施した。 ・市内で婚活イベントを実施しているボランティア団体等と情報交換会を行い、結婚支援事業の参加者にボランティア団体が実施しているイベントを紹介し、結婚を希望する独身者に様々な出会いの機会を提供した。 ・平成30年度は、国の実施要領（要件）が変更されたため、事業内容の見直しを図る。	【出逢いの力の創造・出逢いの場づくり】 ・スキルアップセミナーの開催（2回） 独身者が出会いの機会を有効に使えるよう、出会うためのスキルアップ、出会いに対する意識付けを行う。 ・婚活イベントの開催（2回） 出会いが積極的な交際につながるよう、趣味や好みに合わせた講座や体験を組み合わせたイベントを行う。 ・出会いのフォローアップの開催（2回） 婚活イベントに参加した独身者からの相談を結婚支援ボランティアが受けることで、イベント後のフォローを行う。 ・結婚支援団体等の情報交換会（1回） 結婚支援団体等が情報交換を行い、各団体主催のイベントや相談活動、運営上の悩みなどを共有し、お互いの事業の連携を図る。 各事業を連携して支援を行っていく。	子育て応援課
---	--	---	--------

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
---------------	----------------------	----------------	-----

【妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保】 ・社会教育課主催の事業、中学生体験講座「あかちゃんふれあいタイム」を初倉中学校、六合中学校で実施した。出産適齢期や子育てについての講話と講座のサポートを行った。 【不妊に悩む方への支援】 ・不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減し、医療保険適応外の一般不妊治療や特定不妊治療に要する費用の一部について助成を行った。 一般不妊治療申請者 25組、26件（交付決定26件） 不育症治療費申請者 0件 特定不妊治療申請者 74組、117件（交付決定129件） 【妊娠・出産に向けての支援】 ・母子健康手帳交付時にマイ支援センター登録を促した。 ・子育て世代包括支援センター「てくてく」専任の相談員を配置し、妊娠期から子育て期にわたる支援を行った。	【特定不妊治療費助成】 平成29年度から制度が改正された。自己負担3割を除いた額を助成することとし、年齢制限を設けた。 また、単年度の助成限度額を廃止し、回数制限を導入した。 これらにより、より安心、安全かつ効果的に事業を行うことができた。	【妊娠・出産に関する正しい知識の普及と相談体制の確保】 ・平成30年度は中学生体験講座を第一中学校と初倉中学校、六合中学校で実施予定。赤ちゃんとのふれあいを体験を通して、妊娠や出産についての知識の普及と、子育ての楽しさや子どもとの愛着形成が伝わるように展開していく。 【不妊に悩む方への支援】 ・制度について見直しを行いながら、今後も引き続き費用の助成を行う。 ・不育症や不妊症等の交流会等の情報提供を積極的に行う。 【妊娠・出産に向けての支援】 ・子育て世代包括支援センター「てくてく」を中心に、妊娠期からの支援やサービスの拡充を図る。地域の相談拠点である地域子育て支援センターとの協同講座を行っていく。	健康づくり課
--	--	---	--------

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
(3) 子どもをまんやかに子育てする										
・子育て施設の整備 ・子育て支援体制の充実 ・妊娠・出産・子育てに対する負担感の軽減 ・親と子どもの健康の確保及び増進 ・地域・社会全体で子育てを支える機運の醸成	保育所等の待機児童数 （4月1日現在）	4人 (H26.4.1)	0人	11人 (H27.4.1) ＜基準値以下＞	D	24人 (H28.4.1) ＜基準値以下＞	D	20人 (H29.4.1) ＜基準値以下＞	1.6人	D
	放課後児童クラブの待機児童数 （4月1日現在）	0人	0人	3人 ＜基準値以下＞	D	31人 (H28.4.1) ＜基準値以下＞	D	28人 (H29.4.1) ＜基準値以下＞	0人	D

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)	
	基準値（H26）	目標値（H31）								
（４）豊かな心をもった子どもを育成する										
・個に焦点を当てた授業の推進 ・多様な体験活動の充実 ・子どもたちの成長を支える連携した教育の推進 ・安心・安全な学校づくり	学校が楽しい児童 （市内小中学校が行う学校評価データ）	89%	95%	91% ＜33.3%＞	A	90% ＜16.7%＞	C	90% ＜16.7%＞	92.6%	C
	学校が楽しい生徒 （市内小中学校が行う学校評価データ）	86%	90%	90% ＜100%＞	S	88% ＜50.0%＞	B	89% ＜75.0%＞	88.4%	B

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【保育所の待機児童数】 ・新制度がスタートしたことにより保育所等の入所要件が緩和され待機児童数が増加した。少子化によりこどもの人口は減少していくものの保育需要は高い。今後もこの傾向が続くと推測され、受け入れ人数を増やすために、新規保育所の施設整備（1園：H29.10開所）と、幼稚園の認定こども園化（4園：H30.4開所）、認可外保育所の認可等により、平成30年4月1日において待機児童ゼロを達成した。 ・平成30年度中の開所を目指し、小規模保育事業所、保育園分園及び保育所の移転開設の相談、準備を進めた。 【放課後児童クラブの待機児童数】 ・平成29年度から民設クラブ2か所（定員15人、19人）が新規開所した。さらに、平成29年度中に第一小（30人増）の拡張工事を完了し、9月より利用を開始した。また平成30年度からの利用開始に向けて第五小（30人増）の新築、第三小（25人増）と初倉小（25人）の拡張工事を実施した。	【保育所の待機児童数】 ・新規保育所（島田ゆりかご保育所）が10月に開園した。島田学園付属幼稚園、島田中央幼稚園、五和幼稚園及び伊久身幼稚園において、認定こども園化を進め、平成30年4月1日に認定こども園として開所した。また、認可外保育事業所であった保育所ちびっこわんぱくを平成30年4月1日付けで認可し、小規模保育事業所B型として開所した。以上の取組により、平成30年4月に、待機児童数がゼロとなった。 【放課後児童クラブの待機児童数】 ・平成29年4月1日時点で前年より定員を88人増加させるなど、継続的に定員拡張を続けているが、新規・継続利用とも希望する児童の割合が上昇したことにより、クラブ申し込み児童数が増加し、一部の放課後児童クラブにおいて待機児童が発生した。	【保育所の待機児童数】 ・平成30年度は島田のんのん保育園（6月開所予定）、六合第二保育園分園（8月頃開所予定）及びたけのこ保育園（平成31年4月移転開所予定）の開所準備等を進めていく。 ・平成29年度途中より保育料の第二子半額、第三子以降無償化を実施したこと等による需要増等を考察し、さらなる施設整備等が必要であれば地区・規模等を検討し進める。 【放課後児童クラブの待機児童数】 ・平成30年6月より民間クラブ1か所（定員38人）が開設予定。夏休みに向けて、伊太小（15人増）の拡張工事を実施予定。さらに、余裕教室やWSを利用して夏季限定で既存クラブの拡張を検討中。 ・平成31年度の利用希望者を把握した時点で、余裕教室の利用、WSの共用、民間クラブの開設などを検討していく。	保育支援課 子育て応援課
平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【個に焦点を当てた授業の推進】 ・個に焦点を当てた授業の具体を示すため、小学校、中学校から、それぞれ一校ずつ選び、教育方法研究委員によるモデル授業を行った。その授業を各学校の校長・研修主任が参観し協議することで、各学校の実践へとつながった。 【多様な体験活動】 ・伝統文化の体験や地域交流、福祉体験など、各学校や教育センターが独自の、子どもの夢や地域愛を育む教育活動を行った。 ・「夢育・地育」の指定研究を行い、グローバルな視点をもったコミュニケーション能力の育成、地域資源の活用と連携、小中学校が連携した教育の推進を図った。 【子どもたちの成長を支える連携した教育の推進】 ・保育所・幼稚園と小学校、小学校と中学校で、それぞれ円滑な連携が図れるように、研修会や情報交換会を実施した。 ・教育相談員を増やし、配慮を要する児童・生徒に対してより充実した対応ができるようにした。 【安心・安全な学校づくり】 ・スクールソーシャルワーカーの支援時間を増やし、配慮を要する児童・生徒に対して各々の置かれた環境に対し、より充実した対応を行うことができた。 ・「島田市いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ問題に組織的かつ、迅速に対応できるようにした。	9割近くの児童生徒が「学校が楽しい」と答えていることは、大変高い数値であり、島田市内の児童生徒に対する様々な事業の成果であると考ええる。 しかし、残り1割の児童生徒が「学校が楽しい」と感じる事ができていない状況を見ると、児童生徒がわかる・楽しいと感じる授業や、自分らしく学校生活を送ることができるように、今後も対策を講じていかななくてはならないと言える。 「夢育・地育」の指定研究を行っている地域の児童生徒の「学校が楽しい」の割合はそれ以外の地域の結果に比べ高かった。これは指定研究の効果が始めていると考える。平成30年度は指定研究の2年目となるためさらなる効果に期待したい。 達成率の評価については、平成26年度の基準がもともと高いため、達成率が低くなっていると考えられる。	【個に焦点を当てた授業の推進】 ・平成29年度の成果と課題を受けて、個に焦点を当てた授業についての構想を見直し、これからの島田市の小中学校の授業で目指す方向性について検討していく。それを受け、これからの構想について市内の小中学校に浸透させていく。 【多様な体験活動】 ・子どもたちの夢を育て、地域を愛する豊かな体験活動をより一層推進していくために、「夢育・地育推進事業」を展開していく。また、「夢育・地育推進事業」をより一層推進していくための「夢育・地育」の指定研究について、昨年度の検証を行い、グローバルな視点を持ったコミュニケーション能力の育成、地域資源の活用と連携、小中学校が連携した教育のさらなる推進を図っていく。 【子どもたちの成長を支える連携した教育の推進】 ・教育センターの機能の充実を図り、配慮を要する児童生徒について、学校・外部機関・家庭との連携を図れるよう支援体制を整えていく。 ・保育所・幼稚園・こども園と小学校、小学校と中学校で、それぞれ円滑な連携が図れるように、研修会や情報交換会を実施していく。 【安心・安全な学校づくり】 ・スクールソーシャルワーカーについて、県事業と連携し、派遣時間数を増やすことで、配慮を要する児童生徒や学校に対してより細やかな対応ができるようにしていく。 ・スクールソーシャルワーク事業を推進する中で、教員が福祉的な視点を持って、児童生徒の理解を図ることができるようにしていく。	学校教育課

【基本目標４】 水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり

施策の目標	基準値（H26）	目標値（H31）	実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）
島田市の住みごちが良いと感じる市民の割合 （島田市総合計画市民意識調査）	84.6%	90%	84.9% ＜5.6%＞	C	84.1% ＜基準値以下＞	D	82.4% ＜基準値以下＞	87.9%	D

具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）		実績値 （H27年度末） ＜達成率＞	評価 （H27年 度末）	実績値 （H28年度末） ＜達成率＞	評価 （H28年 度末）	実績値 （H29年度末） ＜達成率＞	理想値 （達成率 60%）	評価 （H29年 度末）
	基準値（H26）	目標値（H31）							

（１）健康長寿の促進

・健康の保持増進と食育の推進 ・高齢者の健康・生きがいの促進 ・スポーツの振興 ・生涯学習の振興	お達者度 （男性） （県において算出）	県内10位 参考：17.74年 （H24）	県内1位 参考：県内1位 19.49年 （H24）	県内11位 17.87年 （H25） ＜7.4%＞	D	県内8位 18.27年 （H26） ＜22.2%＞	D	H27公表待ち	4位	—
	お達者度 （女性） （県において算出）	県内6位 参考：21.40年 （H24）	県内1位 参考：県内1位 22.05年 （H24）	県内6位 21.35年 （H25） ＜基準値以下＞	D	県内6位 21.55年 （H26） ＜基準値以下＞	D	H27公表待ち	3位	—

基本目標の評価			所管課
【島田市の住みごこちが良いと感じる市民の割合】 ・基準値と比較し、平成27年度は0.3%の増で進捗率5.6%、平成28年度は0.5%の減、平成29年度は2.2%で基準値以下となり、基準値付近から抜け出せていない。 ・内訳は「住みよい」が22.4%、「まあ住みよい」が60.0%であり、「住みよい」が前年度比で2.8%増加したものの「まあ住みよい」が前年度比で4.5%の減であり、全体で前年度比1.7%の減少となった。 ・一方、「やや住みにくい」、「住みにくい」が平成29年度14.9%、平成28年度14.6%、平成27年度14.1%、平成26年度13.5%、平成25年度13.0%と、毎年平均0.5%ずつ増となっている。			戦略推進課

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
---------------	----------------------	----------------	-----

【健康の保持増進と食育の推進】 ・第2次島田市健康増進計画及び第2次島田市食育推進計画に基づき、健康の保持増進と生活習慣病の発症予防及び重症化予防、共食の推進を重点に保健事業を実施した。また関連団体等と連携し食育の普及啓発を図った。さらに健康無関心層を取り込み、市民の健康寿命を伸ばすための施策として「健幸マイレージ」を実施した。 *マイレージ参加者878人、応募件数2243件 *健康づくりセミナー6回91人 *健康教育60回1,509人 *健康相談317回4,002人 *訪問指導64回58人 *住民組織の育成67回1,338人 *離乳食講習12回320人 【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（長寿介護過分） ・健康活動・教養活動・地域活動を実施している老人クラブ活動を推進するため、島田市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ58団体に対し、補助金を交付した。 【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（包括ケア推進課分） ・パワーリハビリ教室事業を実施するとともに、指導員を養成し高齢者相互の支え合い体制づくりを促進した。 ・介護予防サポーター養成講座などで介護予防の担い手となるボランティアの育成に努めた。 ・脳の健康度テスト（ファイブコグ）を実施し、認知症予防を推進した。 ・「ボランティアガイド」を様々な場面で利用し、高齢者の社会参加を促進した。 （15か所150部配布） ・地域ボランティアの協力を得ながら、地域ふれあい事業を実施し、介護予防、認知症予防を推進した。 *パワーリハビリ教室504回、参加者410人（延4,870人）、サポーター238人（延3,432人） *シニアトレーニング指導員養成講座32回56人（延377人） *介護予防サポーター養成講座8回16人（延63人） *脳の健康度テスト12回186人 脳の健康度テスト結果説明会13回169人 *地域ふれあい事業953回 参加者 1586人（延17072人）、ボランティアスタッフ 903人（延8121人）			健康づくり課
【健康の保持増進と食育の推進】 ・包括ケア推進課や「しまトレ」の世話人の方たちの協力により、「しまトレ」に通う多くの高齢者がマイレージに参加したため、参加者数が増加したと考えられる。 【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（長寿介護過分） ・老人クラブへの新規参加者が少なく、クラブ数・会員数が減少していることにより、高齢者が老人クラブ活動による健康・生きがいがづくりと社会参加をする機会が減っている。実績値が目標に達していない一因となっていると思われる。 【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（包括ケア推進課分） ・パワーリハビリ教室は、実施会場が2か所（平成28年12月より夢づくり会館でも開始）となったため、実施回数、参加者数ともに増加した。 ・介護予防サポーター養成講座を受講した方が中心となって実施しているしまトレもある。介護予防の推進、生きがいがづくりの推進となったと考える。 ・総合事業の見直しを行った背景もあり、地域での支え合い体制等について考える自治会、町内会等が多かった。			長寿介護課
【健康の保持増進と食育の推進】 ・引き続き、第2次島田市健康増進計画及び第2次島田市食育推進計画に基づき、健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現に向けた取組を展開する。生涯にわたるライフステージに応じた取組の推進、関連団体等と連携した食育の推進を行っていく。 ・第3次計画（平成31年度～35年度）の策定について継続して作業を進めていく。 ・健幸マイレージは、今後も参加者拡大に努め、市民の健康意識の向上や幸福感の向上のための事業を展開していく。また民間との連携を図り、住民主体の事業となるように努める。 【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（長寿介護過分） ・島田市老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活動を支援し、クラブ数及び会員数の増を図り、健康・生きがいがづくり等を促進していく。 【高齢者の健康・生きがいがづくりと社会参加の促進】（包括ケア推進課分） ・パワーリハビリ教室、シニアトレーニング指導員養成講座、脳の健康度テスト、地域ふれあい事業は本年度もこれまでと同様実施する。 ・ボランティアガイドについては、公共施設への配架だけでなく、介護予防講座などでも配付する。 ・介護予防サポーター養成講座は、新規事業である「元気・脳力アップ塾」に統合し、実施する。			包括ケア推進課

・健康の保持増進と食育の推進 ・高齢者の健康・生きがいづくりと社会参加の促進 ・スポーツの振興 ・生涯学習の振興	健幸マイレージに取り組んだ人数（年間）	329人	2,000人	713人 <23.0%>	B	755人 <25.5%>	C	878人 <32.9%>	1,331人	C
---	---------------------	------	--------	-----------------	---	-----------------	---	-----------------	--------	---

具体的な施策	重要業績評価指標（KP1）		実績値 (H27年度末) <達成率>	評価 (H27年度末)	実績値 (H28年度末) <達成率>	評価 (H28年度末)	実績値 (H29年度末) <達成率>	理想値 (達成率60%)	評価 (H29年度末)
	基準値（H26）	目標値（H31）							

（２）地域包括ケアの推進

・救急医療体制の維持 ・島田市民病院における医療体制の充実と新病院建設事業の推進 ・在宅医療の整備 ・包括的なサービス提供のための取組 ・地域で支える仕組みづくり	居場所づくり事業実施箇所数（年度末現在）	10箇所	60箇所	18箇所 <16.0%>	B	23箇所 <26.0%>	C	38箇所 <56%>	40箇所	B
	地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業所数（累計）	63事業所	164事業所	97事業所 <33.7%>	A	108事業所 <44.6%>	B	117事業所 <53.5%>	113事業所	B
	自宅看取りの率（自宅死亡者の率）（年間）	18.8% (H25)	20%	17.7% (H26) <基準値以下>	D	19.2% (H27) <33.3%>	B	19.2% (H28) <33.3%>	19.5%	C

【スポーツの振興】 ・市民ひとり1スポーツの推進のため、トランポウォークを始めとするニュースポーツ教室を5種目、全69回開催し、1,010人の参加があった。 【生涯学習の振興】 ・学習開始の契機となる「魅力ある講座」の開講や、新たな知識や技術の習得・住民間の交流促進・地域文化の向上につながる「学習の場」を提供した。 ・生涯学習活動を行う市民が集まり、発表と交流を实践できる場を設置した。（公民館まつり等、金谷宿大学成果発表会、しまだ楽習センターマナビまつり、フェスタしまだの開催） ・市民の自主的な活動グループの立ち上げに加え、金谷宿大学事業の運営に関する取組に関して、教授・学生となる市民の積極的な参加を得た。	【スポーツの振興】 ・平成29年度から新種目である「ワンバウンドふらば〜るバレーボール」の教室を開始したが、まだニュースポーツとして浸透していないため、結果的に参加者数の減という結果になった。 【生涯学習の振興】 ・アンケート等の結果から「魅力ある講座」を研究し、企画・開講した（公民館、楽習センター）。 ・島田地域の歴史理解を促進するため、市内外の関係者と連携し、第2次世界大戦末期の旧海軍牛尾実験所跡等に関する歴史講座を開講した。 ・フェスタしまだや金谷宿大学成果発表会など学習成果の発表と交流の場を儲けた。この場への参加を得、市民間の学習意欲の高まりと成果を確認した。 ・金谷宿大学事業への市民のより自主的な参画を得たことにより、運営費会計の設置や規約の制定を行うなど、運営体制の整備を進めることができた。	【スポーツの振興】 ・平成30年度も継続して、ニュースポーツ教室を開催していく。また、昨年度から導入した「ワンバウンドふらば〜るバレーボール」については、今年度市民大会の開催を計画しているため、教室を通じて愛好者を増やしていく。 【生涯学習の振興】 ・各課、市内事業者等と連携して、身近で意欲を高めるテーマを研究し、講座を開設する。 ・指定管理を導入した楽習センターの活性度を高め、生涯学習をより促進する。 ・各種講座を通じて、望ましい生活習慣（食・健康・運動）が身につくよう支援し、学びながらの仲間づくりを促していく。 ・学習成果の発表と交流の場を儲け、市民の学習意欲の高揚と施設の利活用の向上を図る。 ・市民の自主的な活動グループの立ち上げを支援する。 ・金谷宿大学事業の安定運営のため、教授・学生の自主的な参加を得ると同時に、学び甲斐がある講座のための人材発掘を行う。	スポーツ振興課 社会教育課
---	---	--	-----------------------------

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
---------------	----------------------	----------------	-----

【居場所づくり実施箇所数】 ・協議体による地域資源把握や、島田市社協及び地区社協からの情報提供があり、新たな居場所の把握に繋がった。 ・既存の居場所に1回は訪問し、活動内容の把握や各居場所の悩みなどを調査した。 【地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業者数】 ・市内事業所を戸別訪問し、事業の趣旨を説明するとともに、協力事業所としての登録を依頼した。 ・協力事業所連絡会を年に1回開催し、高齢者の見守りに必要な知識習得のための研修を実施した。 【自宅看取り者数（自宅死亡者数（率））】 自宅での看取り者数＝219人（H28） 多職種からなる島田市地域ケア会議を開催し、「リビング・ウイル島田版の普及啓発」等について協議を行った。また、在宅医療と介護の連携を推進するため、市民向け講演会や多職種合同研修会等を開催した。 ・市民向け講演会 講演及び「リビング・ウイル」の説明・配布（478枚） 講演 「わがまちの医療と介護を育む」 ～住み慣れた地域で いつまでも安心して暮らすために～ 講師 大阪医科大学 地域総合医療科学 寄附講座 特任教授 大阪医科大学附属病院 総合診療科 科長 鈴木 富雄 医師 来場者 501人 ・多職種合同研修会 2回 ・市民病院・地域包括支援センター・介護支援専門員連絡会 3回 ・リビング・ウイル配布合計（766枚） 【「しまトレ」の推進】 ・介護予防に効果的な体操「しまトレ」を推進し、地域の住民が自主的に場づくりできるよう支援した。 成果：公認しまトレ箇所数 29か所（平成30年3月31日現在）	【居場所づくり実施箇所数】 ・居場所そのものが周知されてきおり、自治会、町内会等が必要を感じ、居場所を開催するようになったため、実施箇所数が増加したと考えられる。 【地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業者数】 ・事業所の業界を絞ることで効率的に協力事業に登録を依頼することができた。 【自宅看取り者数（自宅死亡者数（率））】 ・家族構成の変化や自宅介護力不足といった背景から、高齢者施設での看取りが増加傾向にあるためと考える。 【「しまトレ」の推進】 ・「しまトレ」の周知が進み、自治会や町内会、いきいきクラブ等で立ち上げに対する気運を高めることができた。 ・「しまトレ」の効果が口コミで広がり、自主グループで立ち上がった箇所も多かった。	【居場所づくり実施箇所数】 ・島田市社協と情報共有をはじめ連携体制を構築し、協力をして、今後とも居場所の把握を継続していく。 ・居場所を実施している団体や、これから居場所を実施する団体に対して、相談を受けたり、居場所の開設に対するアドバイスを実施し、既存の居場所の継続や、新規居場所の開設を促す。 ・居場所を実施する団体に対し、市が所有するレクリエーション物品等を貸与し、活動の選択肢を増やし、継続を図る。 【地域高齢者見守りネットワークづくりの協力事業者数】 ・市内事業所を戸別訪問し、協力事業所数の増加に努め、ネットワークを広げている。 ・協力事業所連絡会を開催し、高齢者の見守りに必要な知識習得のための研修を実施する。 【自宅看取り者数（自宅死亡者数（率））】 ・引き続き、平成29年度から開設した「在宅医療・介護連携相談支援窓口」が効果的に機能するよう努め、在宅医療と介護の連携のためのネットワークの強化を図る。 ・在宅医療・介護連携強化を意識した市民病院・地域包括支援センター・介護支援専門員連絡会等の開催や、出前講座等の地域や組織での教育、関連組織と連携した普及啓発を図っていく。 ・在宅医療を提供する医師の負担を軽減するため、「主治医不在時のバックアップ体制」「医療材料調達システム」等を推進する。 ・リビング・ウイル島田版について市民への普及を図る。 【「しまトレ」の推進】 ・引き続き、公認しまトレが増加するよう周知・支援していく。 ・元気・脳力アップ塾アップ受講生等が地域のしまトレの担い手となれるよう支援していく。	包括ケア推進課 長寿介護課 包括ケア推進課
--	--	---	--

具体的な施策	重要業績評価指標（KP1）		実績値 (H27年度末) ＜達成率＞	評価 (H27年 度末)	実績値 (H28年度末) ＜達成率＞	評価 (H28年 度末)	実績値 (H29年度末) ＜達成率＞	理想値 (達成率 60%)	評価 (H29年 度末)
	基準値（H26）	目標値（H31）							
（３）住民生活を支える公共交通基盤の整備									
・公共交通網等の充実 ・民間鉄道による移動手段の確保	コミュニティバス 利用者数 （年間）	369,957人	370,000人	379,717人 ＜100%＜＝＞	S	256,865人 ＜基準値以下＞	D	240,040人 ＜基準値以下＞	369,983人 D

平成29年度中の取組、成果	平成29年度中の達成率に対する要因、考察	本年度の取組と今後の施策展開	所管課
【コミュニティバス利用者数（年間）】 ・一部で路線の調整を行い、川根温泉線の家山駅経由とし本数も増便した（H30年度から運行開始） ・バス利用者の利便性を図ることを目的としてバスの接近情報を示すバスロケーションシステムの開発を進めた。	【コミュニティバス利用者数（年間）】 ・平成28年度バス路線の運行本数の減、時刻の変更等の理由から、利用者数が大幅に減少したため、一部の路線において時刻の調整を行ったものの、利用者は依然として減少している。 ・県内のバス利用者は年々減少し続けており、島田市においても同様の傾向が認められる。	【コミュニティバス利用者数（年間）】 ・回数券の販売や出前講座の開催、広報掲載などのPR活動も行い、利用者の増加に努めている。 ・アンケートや毎月報告される利用者数の動向を考察し、時刻の微調整を行う。 ・バスの接近情報を画面で確認できるバスロケーションシステムは、現在しずてつジャストラインのHPにより島田地区での運行のみ確認できるが、さらに金谷、川根地区を含め市内全域のバス位置を確認できるよう島田商業高校と協働してシステム構築に取り組む。	生活安心課